

ヒカリとホムラが
消息を絶ってしばらく
経過したころ

謎の生物は
ホムラとヒカリ
両方の力を奪い

プネウマとなり
世界中でブレイドを
狩り続けた

彼女の力はあまりにも巨大で
ブレイドたちは次々と
その刃を折られ

彼女に捕獲されていった

私もその一人…

触手で子宮の中を
激しくかき回され
少しづつエーテルを
奪われていた

「嘘…っ!!
中で膨らんで
やだ、出すな!」

下腹の服が破けるほどの
勢いで注がれる精液が
私の子宮に流し込まれる

「やめっ!」

「あぁあぁっ!!」

「そこっ!!
だめえええっ!!」

何度も犯され
開発された体では
流れ込んで来る
精液を拒むことはできず

濁流が子宮壁を叩くと
私はあっさりと
絶頂を迎えてしまった

「や…出て…」

また、イカされた…
エーテル…
取られちゃってる…

子宮を汚した凌辱者達は
次の標的を求め
卵管に潜り込んで来る

また…赤ちゃん…
出来ちゃう…

エーテルの詰まった
卵子を犯し
母体を孕ませるために…

サイカや、カグツチ
歴戦のブレイドでも
彼女には勝てなかった

一人、また一人と…
捕まり

その芳醇なエーテルの
宿った体と
まだ汚れを知らない
子袋を狙われ

どんなに優秀な
ブレイドでも
彼女には決して敵わない

彼女の操る触手に
蹂躪されていた…

彼女たちのエーテルは有限

コアに亀裂が走る

コアが砕けた瞬間
彼女たちはこの
快樂地獄から
解放される…

「マスターブレイド」ではない
「ブレイド」にとつて
限りある命を奪われていくのと同じ

はずだった…

コアに戻ったブレイドは
再同調を促されると
ブレイドに戻る

「……は……？」

「おはよう
大事な苗床さん」

「さあ、始めましょう、
今度はどんな声で
泣いてくれるかしら」

「ひっ何よこれ！
やだ来ないでっ！」

ブレイドたちは
目覚めるとすぐに触手たちの
海に放り込まれる

当然、「凌辱の記憶を失った」まま……

新品のコアとエーテル
そして汚れを知る前に
戻った子宮
そして、新鮮な反応

化け物は歓喜しながら
エーテル貪り
子宮に子種をばら撒く

それはコアクリスタルが
完全に砕けるまで
終わらない「命の循環」であった

唯一の救いそれは

一度コアに戻ったブレイドは
マスターブレイドと違い
過去を失う……それだけだった……



触手に囲まれた部屋…
孕まされたブレイドたちは
ここで出産を強要される
淫靡な声
ブレイドたちの

ホムラは力なくうなだれ
今まさに触手の幼体を
出産したばかりだった

でも、お腹の大きさから
胎内にはまだ何匹も幼体が
蠢いているのが見て取れる

ヒカリのアソコには
次の子を孕ませるために
子宮内部で暴れまわっている

全員お腹に
奴隷の紋章のようなものが
刻まれている

ホムラのお腹から
触手の怪物が生れ落ちた瞬間
お腹の紋章の数字が
変化するのが見えた

「560」

それは「出産数」

ヒカリには
「372」の数字が

二人が孕まされ
生み落とした
回数だった…

快感で望まぬ絶頂を
繰り返され

その際に漏れ出した
エーテルは
天井の光る球体に
吸収されているのがわかる